



2010年10月22日
在日米国商工会議所

**第15回ACCJ国会ドアノック実施
在日米国商工会議所が約50名の日本政府関係者と意見交換**

在日米国商工会議所（ACCJ）は、ACCJ幹部が閣僚を含む国会議員や日本政府関係者を訪問し、意見交換を行う提言活動「国会ドアノック」を実施した。第15回目となった今回の国会ドアノックでは、10月19日から21日の3日間にわたり開催。会頭のトーマス・ウィッソンを中心とするおよそ60名のACCJメンバーが、約50名の国会議員や政府関係者と日本のビジネス環境の向上に関する意見交換を行った。

ウィッソン会頭は、「多数の国会議員や政府関係者と面談ができ、光栄に思います。ドアノックでは、双方の関心事項について意見交換をし、日米関係の重要性を改めて確認しました。さらに、日本の経済成長の実現に向け提言を行い、今後も日本政府と協力していくことを再確認しました。」と述べた。

ウィッソン会頭は、ACCJ国会ドアノックが15年間続いているのはその成果があるからこそと指摘。「多数の貴重なご意見・お言葉を頂き、日米の協力関係は益々深まるものと確信しました。国会ドアノックのみならず、今後の活動を通じて我々ACCJは、日本における国際ビジネス環境の向上を目指し、日本と米国のさらなる発展のために精一杯努めて参ります。」

以上

#

1012 J**–在日米国商工会議所について–**

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室メディアコーディネーター 野田由比子 (電話: 03-3433-6542; メール: ynoda@accj.or.jp) までお願い致します。